

ひしのみだよ!

平成31年2月1日発行

発行責任者 千住由一朗

今年の冬は、例年よりも暖かく感じられる日が多いようです。2月3日は季節が変わる前日の「節分」です。園では1日に豆まきをします。4日は「立春」と、暦の上では冬から春へと移り変わる季節になります。しかし、これから暖かい日と寒い日の気温の差がありますので、体調には十分に気をつけていきましょう。

さて、園のインフルエンザ感染者数は、ピークを過ぎましたが、佐賀県では例年2月中旬まで感染者数が多いようですので、ご家庭でも、手洗い・うがいや適度な湿度の保持、十分な休養やバランスのよい食事等に心がけ、感染予防に努めて下さい。

9日土曜日に『ミニ音楽会』を開きます。日頃の保育の中から、音楽にかかわる遊びを集めて、音楽会にしています。音遊び、手遊び、歌、楽器遊び、合奏と、子どもの発達段階に合わせて行います。ご家族皆様で、おいでください。



今年の恵方は「東北東やや東」!

- ・福を巻き込むことから巻き寿司。縁が切れたり、福が途切れたりしないよう、包丁で切ってははいけません。七福神にあやかり、7種類の具が入った太巻きが望ましいとされています。
- ・恵方とは、その年の福德を司る歳徳神のいる方角で、その方角に向かって事を行えば何事も吉とされています。
- ・願いごとをしながら、黙々と最後まで食べる。しゃべると運が逃げてしまいます。



「自然との関わり・生命尊重」の幼児期の終わりまでに育ってほしい姿とは!

「自然に触れて感動する体験を通して、自然の変化などを感じ取り、好奇心や探究心をもって考え言葉などで表現しながら、身近な事象への関心が高まるとともに、自然への愛情や畏敬の念をもつようになる。また、身近な動植物に心を動かされる中で、生命の不思議さや尊さに気づき、身近な動植物への接し方を考え、命あるものとしていたわり、大切にしている気持ちを持って関わるようになる。」と示されています。

(例)

- ・水や氷、日なたや日陰など、同じものでも季節により変化するものがあることが分かり、変化の応じて生活や遊びを変えるようになる。
- ・季節の草花や木の実などの自然の素材や、風、氷などの自然現象を遊びに取り入れたり、自然の不思議さをいろいろな方法で確かめたりするようになる。
- ・身近な動植物の世話や植物の栽培を通して、生き物への愛着を感じ、生命の営みの不思議さ、生命の尊さに気づき、感動したり、いたわったり、大切にしたりするようになる。



乳児期の子どもたちは、視覚・聴覚・味覚・嗅覚・触覚の五感を使い、身の回りの自然を感じ取っています。お日様の暖かさや、ザーザーという雨の音など、つつい忘れがちな身の回りの自然にも目を向けていきたいものです。